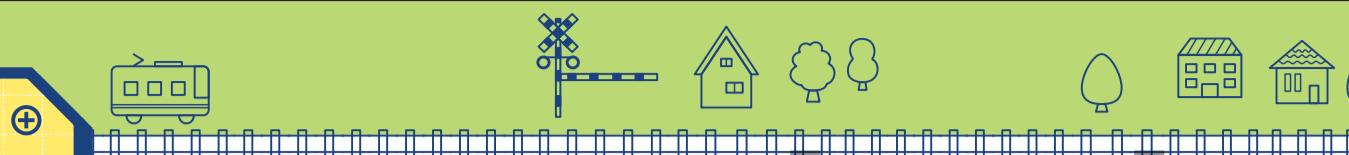


どこから  
見学  
しようかな?

# 車両検査に運行管理、 そして都電おもいで広場。 気になるところがいっぱい!

荒川電車営業所は、都電荒川線「荒川車庫前」停留場の目の前にあります。在籍車両は33両。まさに都電荒川線の車両基地です。今回、ジュニア記者たちは都電荒川線の「点検・整備」「運行管理」「歴史と体験」という3つの側面から案内してもらいました。みんなが気になるところはどこかな?



車掌さんの  
気分が  
味わえるね



## 都電おもいで広場

とてんおもいでひろば

昔の停留場をイメージした都電おもいで広場には、「5500形(通称PCCカー)」と「旧7500形(学園号)」という貴重な旧型車両が展示されています。車両内には昭和30年代の街なかを再現したジオラマや、開業後の周年記念で販売された貴重なグッズも展示中。そのほか、実際に使われていた運転席やシミュレーターの体験などもできます。

### 運転席体験



▲黄色い車体がトレードマークの学園号。車両内には都電が走る風景を描いたイラストが展示されています  
▶木村くんが左手で握っているハンドルは主幹制御器。速度を上げる時に使います。右手はブレーキハンドルを握っています



### シミュレーター体験



▲運転席から見える風景の映像に合わせて出発進行! 交差点や信号に気を付けてハンドルを動かしてみよう

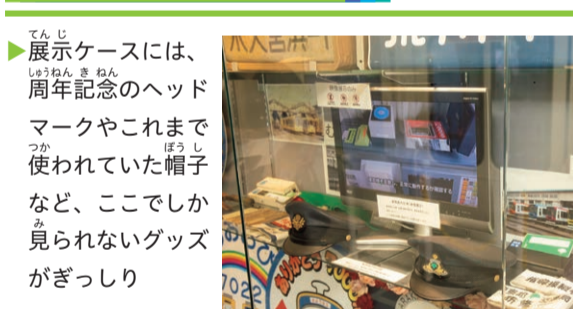
### 切符切り体験



▲車両が揺れた時に尖った部分がお客様に向かないように、パンチは小指にかけないように持ちます

▶切符に穴を開けるパンチと乗車かばんを身に付けて、懐かしの車掌さんの仕事を体験しました

### 装備品見学



▶展示ケースには、周年記念のヘッドマークやこれまで使われていた帽子など、ここでしか見られないグッズがぎっしり

### 都電おもいで広場 ご案内

荒川区西尾久 8-33-7  
入場料：無料  
※施設の詳しい情報はホームページをご覧ください。



都電おもいで広場

検索

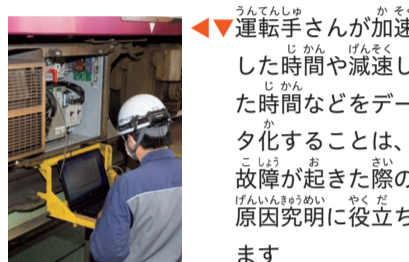


## 荒川車両検修所

あらかわしゃりょうけんしゅうしょ

荒川車両検修所では車両の点検と整備などを行っています。3日に1回行う「車両検査」ではブレーキ装置や標識灯などの検査をします。また、3か月に1回行う「月検査」では、台車やパンタグラフ、制御装置などの検査をします。なお、現在は車両の運行状況がデータとして記録されるので、運転手さんが当日の乗務でどのような操作をしたか、パソコン上で確認することができます。

### トラパーサで効率アップ



▲運転手さんが加速した時間や減速した時間などをデータ化することは、故障が起きた際の原因究明に役立ちます



▼車体を支えるために重要な台車もくまなくチェック。空気圧をかけて、ブレーキ装置がきちんと動くかテストします



◀車庫の複数線路間で車両を移動させる「トラパーサ」で平行移動。効率良く入れ替えでき、点検作業などがスムーズに行えます



### 車両の下をチェック!

▲台車に不具合がないか点検ハンマーで叩いて確認。車輪とレールの間に滑り止めの砂をまく「砂まき装置」なども慎重に検査をします



◀これは洗車場。左右から水が噴き出す装置に車両を入れて水洗いします。2週間に1回はデッキブラシで車両のボディを丁寧に洗います

### 運行管理システム



秘密基地  
みたい!



▲たくさんのモニターに、路線内のすべての情報がリアルタイムで映し出されます。万が一のトラブルにも、すぐに対応することができます

## 荒川電車営業所

あらかわでんしゃえいきょうしょ

荒川電車営業所は「定期券の発行」や「忘れ物の管理」といったお客様へのサービスのほかに、「運転手さんの予定表の作成」や「運行管理システムの運営」など、都電の運行に欠かせない役割を担っています。ちなみに、入り口で人が出入りすると、都電の「チンチン!」という車内合図音が聞こえます。

### 都電のこんなこと知ってる?

「パンタグラフ」は車両に電気を送る装置で、都電荒川線では「く」の字に曲がった「シングルアームパンタグラフ」が使われています。パンタグラフの付いている方を車両の「I位」、付いていない方を「II位」と呼びます。パンタグラフの向きを見ると、「今日は進行方向がI位だ」など、ちょっと通な発見ができます。



### 取材を終えて

ふたん都電に乗るだけでは見られない貴重なものを見学することができて、楽しかったです!

荒川電車営業所の仕事はいろいろ大変そうだけど、都電に関わる仕事にとても興味が湧きました!

高山風佳さん

木村義之くん

